

編集後記

有意義だった取材、載せきれないつらさと文字にする難しさ、楽しかった編集会議。いろんな出会いに感謝です。共同参画は“ありがとう”から…(蘆野)

地域の仲間でボランティア活動を広げよう。多くの出会いの中で、友達の輪が広がり楽しさやすばらしさを実感できるはずです。(齋藤)

編集委員として、資料をみながら勉強不足を痛感！堅いイメージの男女共同参画。本当はみんなを温かい気持ちにしてくれるんだよね。(佐々木)



【編集委員】左から佐々木さん、蘆野さん、齋藤さん



表題「ゆっパル」の由来

この地方の方言で“結ぶ”という意味の「ゆっばる」と、英語で“仲間・友だち”という意味の「パル」からできています。『一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる』という願いが込められています。

●ご意見、ご要望をお待ちしています
「男女共同参画市民情報誌ゆっパル」について、今後取り上げてほしい内容や情報をお待ちしています。

●問い合わせ先
交流推進課男女共同参画係

電話 (23) 5111
内線 6236



十和田市男女共同参画推進シンボルマークが決定しました



堀江 豊さん
はつかいち
(広島県廿日市市)
のデザイン

【製作意図】

十和田市の「T」を男女にデザインし、性別にとられない生き方や対等・互いを尊重し合うことをイメージしています。また、男女共同参画を推進する躍動感・ひらけを表現しています。

(堀江さん)

市は、男女共同参画の普及啓発の一環として、シンボルマークを選定しました。

シンボルマークの応募には、県内外から29点が寄せられ、庁内の職員に呼びかけて、デザインとしての親しみやすさ、分かりやすさなどを勘案し、3点を選考。1月16日に開催された市男女共同参画懇話会において決定しました。このシンボルマークは今後、庁内の各種事業に取り入れ、市全体で男女共同参画施策を推進していくこととしています。

●問い合わせ先

交流推進課男女共同参画係

電話 (23) 5111
内線 6236



サバの三枚おろしに挑戦する参加者

男性の料理教室

料理をとおして
健康について考えよう

12月14日、食事や栄養について関心を持ち、健康について考える「男性の料理教室」が保健センターで開催されました。

参加者は、栄養士や生活改善推進員から手ほどきを受けながら、魚のおろし方や野菜の切り方を学びました。

包丁を手に四苦八苦する参加者は、「料理は妻に任せっきり。たまにはやらないといけませんね」と苦笑い。

みんなでサバのみそ煮やサラダ、みそ汁を食べながら、健康に対する食事の大切さを実感していました。